

令和3年度全国学力・学習状況調査 直江津中等教育学校の結果について

教科	直江津 中等教育学校	新潟県立 中高一貫教育校	全国（公立中学校・ 中等教育学校）	新潟県（公立中学校・ 中等教育学校）
国語	78.0%	76.0%	64.6%	65.0%
数学	75.0%	71.0%	57.2%	56.0%

1 学力調査の結果について

本校は、県立中高一貫教育校全体・全国の公立中学校・新潟県の公立中学校の平均に比べて、高い正答率である。全ての教科で全国平均をおおむね10ポイント程度上回っている。また、各教科のすべての問題においても全国平均を大きく超えていた。しかし、それぞれの教科において、正答率が低かった問題は以下の通りである。

- ・国語 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する問題 正答率27.2%
 - ・登場人物の心情を読み取り、読み取ったことを活用して自らの考えをまとめる問題 正答率31.1%
 - ・数学 データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題 正答率 15.5%
- この結果から、文章や資料・データから読み取りたいことをきちんと読み取り、それらを根拠として自らの考えを書いたり説明したりすることに課題があることがわかる。これを平素の学習指導の参考として、授業改善に取り組む。

2 質問紙調査について

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対して「はい」と回答した割合が、16.5ポイントであり、こちらは新潟県公立中学校の平均である30.0、全国公立中学校の平均30.9ポイントを大きく下回っている。こちらについては、今後学校で作成した情報モラルガイドブックを活用しながら、学校で指導するとともに、家庭での使用上のルールや制限などについて確認させたい。

また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問への回答に対しては、本校では83.5ポイントの生徒がポジティブな回答をしており、こちらは新潟県平均や全国平均より6ポイント近く高くなっている。希望を持って入学した生徒が多いため、本校としても、その期待に応えるべく、サポートしていきたいと思う。

最後に、「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」に対しては、新潟県平均や全国平均が10～15ポイントとなっていたのに対し、本校では0ポイントであった。GIGAスクール構想の大きな柱である、校内LANの整備のおかげで、現在タブレットを活用した授業を段階的に増やしているところである。タブレットを使うことが目標となるのではなく、活用した効果的な学習について、教員自身も研修を積む必要がある。

3 今後の対応について

今年の結果は、数年前と比べると、低学力層の割合が大きくなっており、現在、低学力層への基礎学力定着のため、補習や課題のオンライン化など、各学年ごとに工夫を行っている。そして、例年同様に上位層のさらに高い意識啓発を中心に校内の改革を進めている。

また、いじめ根絶のために、道徳やHRを利用した道徳教育、人権教育、同和教育の充実、生徒会が主体となっている「いじめゼロスクール」活動を今後も継続的に行っていく。